

ひとりで悩んでいませんか？

若年性認知症 コールセンター

「若年性認知症」とは？

認知症は、加齢とともに発症するリスクが高くなる疾患です。しかし年齢が若くても発症することがあり、65歳未満で発症した場合は「若年性認知症」といいます。働き盛りの世代にも起こる認知症は、本人だけでなく家族の生活に与える影響は高齢者の発症に比べ大きく、社会的にも重大な問題となっています。

「認知症介護研究・研修大府センター」は、若年性認知症の研究と支援に取り組んでいます。

「働き盛り世代の発症」は周辺にも大きな影響を及ぼします。



配偶者への影響

家事ができなくなる。夫は仕事が十分に続けられなくなる。

↓
家庭内の経済的負担や家事・介護の負担などが発生します。

子供への影響

心理的影響が大きい。中学生・高校生は親を頼りにする時期です。

↓
思春期の子供が受け入れるのは困難です。

仕事への影響

記憶力の低下によるミスの増加。納期やスケジュール管理などの対応の遅れ。

↓
仕事を続けるのが困難な状況となります。

相談は無料です。
右記フリーコール
(無料)まで

若年性認知症コールセンター

月～土曜日 (年末年始
祝日除く)
10:00～15:00

0800-100-2707



社会福祉法人 仁至会
認知症介護研究・研修大府センター
〒474-0037 愛知県大府市半月町3丁目294番地

若年性認知症コールセンター

検索

個人情報は厳守します

<http://y-ninchisyotel.net/>